

# 元気で躍進 地域経済

## ミエラボと新本社披露

三重化学 工業 マックスバリユ本社跡へ

松阪市大口町の三重化学工業(株)(山川大輔代表取締役社長)が、同町内の旧マックスバリユ中部本社だった建物に、これからの多様な働き方や企業間連携のための研究所「ミエラボ」を開設する。とともに本社機能を移転、17日午後1時半から完成披露式典を行った。

旧マックスバリユの建物(鉄骨造2階建て1922平方メートル)の1階部分1189平方メートルをリニューアルし、その半分がミエラボ、もう半分が新本社。前例のないオープンラボ業が交流しながら、企画・開発・マーケティングの新展開を目指す。



同社は業務用の保冷剤や医療用の冷却材、作業用手袋のメーカーで、従来の本社工場はミエラボと新本社の建物から100メートル離れていない。同社は昨年7月にマックスバリユ東海(株)(旧・マックスバリユ中部)から建物を購入し、約3千平方メートルの敷地も別の地権者2人から買い取った。

ミエラボは、新しい働き方を提案しようと昨年7月に、まず「仕組み」として立ち上げた。大企業の副業推奨など労働市場のオープン化も背景に、大都市圏の大企業の現役社員らも受け入れ、折からのコロナ禍もあってリモートワークを中心に、新商品開発や海外へのマーケティングなど、これまでに既に八つのプロジェクトに取り組んで

きた。今回は「新たな発見」を見つけてくる「コ・クリエーション(共創)の場」としてリアルな拠点が誕生した。

そのオープンスペースの中には、ガラス張りのR&D(リサーチ&ディベロップメント)研究開発、キッチンの付いたくつろぎの空間、階段状の豊敷き空間もあって、社会見学の子供たちや親子連れらがゆったりでき

る仕掛けになっている。ミエラボのリアル拠点開設に合わせて移転した、もう半分の「トランスフォーメーション・ゾーン」(新本社)は、座席を固定しないフリーアドレスのオフィスで、大

画面のモニターで工場と結び、姿を見ながら対話することもできる。「細かい打ち合わせは顔を見てコミュニケーションを取るのが伝わる」と山川社長(44)は話す。

多様な働き方を示す この日の完成披露式典には竹上真人市長、融資した百五銀行松阪支店の

須川哲也(株)須川ラボ建築設計事務所代表取締役所長(50)らが参列した。山川社長はあいさつで「多様な働き方、そして自由な働き方があるんだと、ミエラボを通じて皆さんに示していきたい。ここに気軽に参加する全ての方が、将来的には地域、社会に貢献するようなアイデア、取り組みを生んでくれるのではないか」と話した。

篠田幸司支店長(52)、施工した㈱北川鉄工建設の北川和孝代表取締役(43)を来賓に迎え、設計した松阪市新町出身の

## 学校などへ花苗を寄贈

クラギ 卒業式や入学式に飾って



感染拡大防止の配慮で屋外に並べた花苗に札を立てて贈呈に備える社員ら

〓 嬉野黒野町で 竹内秀樹代表取締役社長、56店舗)が17日、同市内の市立小学校と市立中学校、市立幼稚園、公私立の認可保育園、子育て支援センターなどを計108施設に、パインシーとヒオラの花苗合わせて1080鉢を寄贈した。

中村篤史管理部長兼人事部長は「地元の松阪市に何かお返しをしたいと、農場ができて花苗を育てるようになった時に、卒業式や入学式で飾ってもらえたら」と喜びを話していた。

「農業屋」と「農家の産直市場のみり」をチェーン展開するクラギ(株) (本社〓松阪市川井町、例年行っている贈呈式は